



今後、日本は更なる少子高齢化による労働人口の減少が挙げられています。さまざまな行政サービスを必要とする高齢者が増え続ける一方で、公務員の数は減少して行きます。

そうした中で快適な行政サービスを提供し続けるために、地方自治体の業務を効率化する自治体DXが必要とされています。

しかし、民間企業DXに比べ、自治体DXは遅れを取っていると言われています。自治体DXの進まない理由で、全国的なDX人材の不足が原因と言われています。

また、予算規模の小さな自治体ほど予算面でDXの推進に苦戦していると言われています。

DX推進には自治体トップの理解も必要ですが、住民からの理解も得なければならないのです。

今回の一般質問で自治体DX、那珂川市DXの必要性をより多くの市民の方にご理解いただき、今後DXに予算が必要な時は、的確に財源が確保できるようにと思い質問しました。

自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)とはデジタル技術を活用し、住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化を図り行政サービスの更なる向上を図るものとして位置づけられています。



逃げない・ぶれない・わかりやすい議会活動 春田ともあき
《Facebook やっています 春田智明→検索》

春田ともあきブログ
ランニングマン春がゆく



■最後までお読み頂き感謝申し上げます。

那珂川市議会議員

は る た

春田ともあき

あなたの声を!
あなたの思いを!
市政に届けます!



春田ともあき事務所

福岡県那珂川市中原6-13-21-505

TEL/FAX:092-952-1431

E-mail:haruta@ari.bbiq.jp

http://haru3.net

ご意見、ご感想などございましたらご連絡下さい。